

# 会議結果報告書

令和 4 年 11 月 4 日

会議の名称	令和4年度 第1回 志木市上下水道事業審議会
開催日時	令和 4 年 11 月 2 日 (水) 13時30分～ 14時30分
開催場所	志木市水道庁舎 2階 会議室
出席委員	伊藤満枝委員 岩下悟朗委員 上野剛彦委員 上原 実委員 金子義一委員 木下武久委員 佐藤麻世香委員 高橋好江委員 高山裕子委員 山中政市委員 (計 10 人)
欠席委員	(計 0 人)
説明員職氏名	上下水道総務課 課長 佐藤英樹 水道施設課 課長 岡田憲和 下水道施設課 課長 吉田政弘 (計 3 人)
議題	(1) 委嘱状交付式 (2) 会長及び副会長の選出 (3) 志木市の上下水道事業について 経営状況 上下水道総務課長 水道施設の整備状況及び予定 水道施設課長 下水道施設の整備状況及び予定 下水道施設課長
結果	(2) 委員の互選により、会長及び副会長を選出 (3) 上下水道事業の現状などを説明 (傍聴者 0 人)
事務局職員	上下水道部長 細田雄二 水道施設課副課長 武田 光 上下水道総務課主任 吉田達哉

審議内容の記録（審議経過、結論等）

- 1 開 会
- 2 会長及び副会長の選出
- 3 委員及び事務局職員紹介
- 4 議 事

①志木市の上下水道事業について

（１）経営状況（水道事業）

（説明員）

以下のことについて説明する。

・水道、下水道とは

水道水の60%を埼玉県から購入し、40%分は地下水を汲み上げ、浄水して供給している。汚水は、県の施設で処理され、新河岸川へ放流している。

埼玉県からの水の購入と汚水処理の費用はそれぞれ年間約3億円。

・埼玉県内の水道料金の比較

志木市の水道料金は、全国平均・埼玉県平均より低いが、近隣市と比較すると高いということが市民に「志木市の水道は高い。」という印象を与えている。

・供給単価及び給水原価の推移について

令和3年度は収支差で昭和62年以来の黒字になったが、赤字傾向が続いている。

・水道事業の収支状況及び加入金の推移について

1 m<sup>3</sup>あたりの収支差はマイナスであるが、会計自体の決算が黒字であるのは、加入金で補ってきたから。

（２）水道施設の整備状況及び予定

（説明員）

水道の主な事業として、水道管の耐震化、浄水場の設備の更新、水道水質検査、漏水調査、災害用備蓄飲料水の製造、国道254号バイパス整備に伴う水道管の布設や切り回しを行っている。

令和4年度の工事4箇所の説明をする。

### (3) 経営状況（下水道事業）

(説明員)

以下のことについて説明する。

- ・下水道事業の収支状況について

水道事業と同様に損益は黒字である。利率の高い時代の借入の返済が進んでいることで利息の支払いの減少が費用の減の要因。

- ・汚水処理費用について

令和3年度決算数値で見ると、約6,000万円を不明水分として余分に県に支払っている計算になる。

不明水対策が今後の課題である。

- ・使用料単価及び汚水処理原価の推移について

令和2年度から収支差が黒字となっている。台風次第では不明水が増加し、流域下水道維持管理負担金が増えるので、赤字となりうる。

- ・埼玉県内の下水道使用料の比較

全国平均より低い、埼玉県平均より高い。また、近隣市と比較しても高い。

### (4) 下水道施設の整備状況及び予定

(説明員)

下水道の主な事業として、下水道管の耐震化、不明水対策、下水道管・ポンプ場の更新、未整備水路の整備、新デザインマンホール蓋の作成、国道254号バイパス整備に伴う管の布設替えを行っている。

令和4年度の工事4箇所の説明をする。

## ②その他

質疑応答

(委員)

志木市の水道料金が近隣市と比較して高いのはなぜか

(説明員)

他市と比較すると市の規模に対しての浄水場の数が多いことと、大口の利用者が少ないことが要因である。

(委員)

下水道事業の不明水対策の説明の中にあった、雨天時浸入水対策計画とは具体的にどういう計画か。また、その対策として何か行っているか。

(説明員)

雨天時に汚水管にどれだけ水が浸入しているかを測定して、その対策を検討する計画。具体的には、雨がやんでから4時間後までの浸入水を測定している。

対策は、今後他の計画とあわせながらどのような方法が良いか検討して行っていく。

事務局からお知らせ

- ・水道事業経営戦略の改定作業中である。素案ができ次第、内容等の検討をお願いすることになる。
- ・9月検針分から水道基本料金の減免を実施している。

(以上で上下水道事業審議会を終了。)